外来様式１作成支援ソフト

「SELF」をご利用の際には、カルテ番号をご確認ください

レセ電ファイルのカルテ番号に数字以外の記号で区切られた「枝番」がついている場合、そのまま「SELF」に登録すると正しく動作しない。
カルテ番号に「枝番」がついたレセ電ファイルは「SELF」に登録する前に枝番除去の処理を行う必要がある。

１．カルテ番号に枝番のついたレセ電ファイルを作成する電子カルテとして、

MAPs for CLINIC	Dynamics
SUPER CLINIC	Qualis
Hi-SEED	Medical Station　などがある。

枝番のある電子カルテでは、レセ電ファイルをSELFに登録する前にSELFサポートツールで枝番除去の処理を行う。

２．枝番のついたままのレセプトをそのまま登録してしまうと「対象患者一覧画面」に警告が表示される。枝番は「カルテ番号」の列で確認することができる。
FF1作成の前であれば、SELFサポートツールで復元できる。



３．既にFF1を作成済みの場合は、SELFサポートツールでは修復ができないので、SELFサポートツールではなく、「ReID3」を使って復元する必要がある。

連番	患者ID	患者氏名	FF1作成	作成済み	削除	カルテ番号
1	0000000020	テスト国３９	FF1作成	作成済み	FF1削除	2*0
2	0000000160	テスト国２８	FF1作成	作成済み	FF1削除	16*0
3	0000000170	テスト国３１	FF1作成	作成済み	FF1削除	17*0

「ReID3」による復元方法は、
SELFホームページのQ&Aの「枝番付きカルテ番号について」参照のこと。
翌月よりは「SELFサポートツール」の枝番除去機能を利用できる。

レセ電データ枝番除去（数字以外の記号で区切られた枝番がある場合）

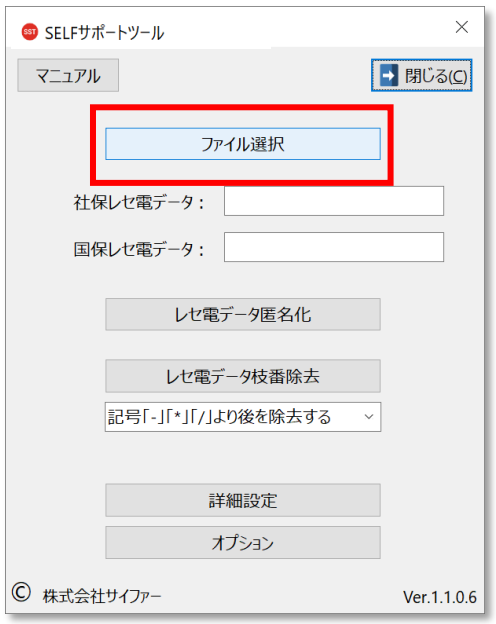
カルテ番号の後に「-」（例：1234-01）、「*」（例：1234*01）、「/」（例：1234/01）、「 」（スペース　例：1234 01）等の記号を挟んだ枝番がある場合。

注：SELFサポートツール操作手順の詳細は「SELFサポートツール手順書」を参照のこと。

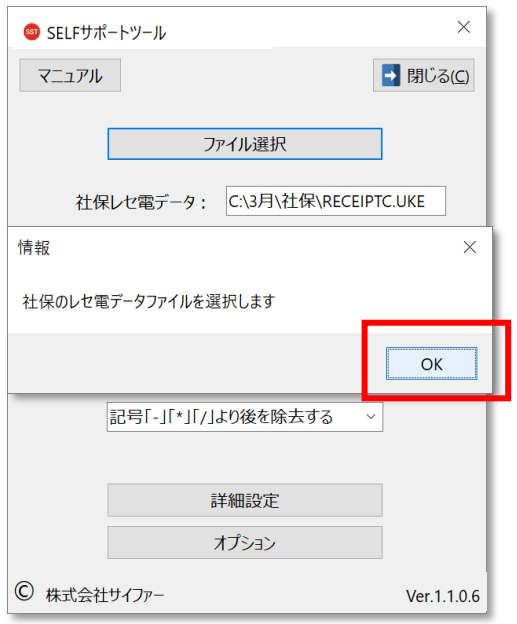
1．SELFサポートツール 

を起動する。

2．［ファイル選択］をクリックする。



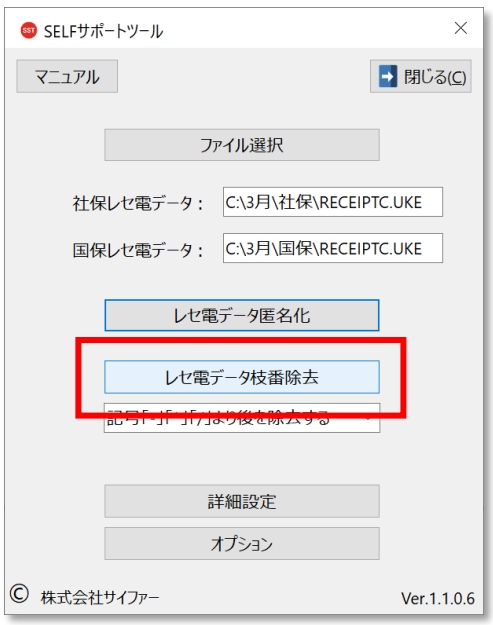
3．「社保のレセ電データファイルを選択します」とメッセージが表示されるので、［OK］をクリックする。



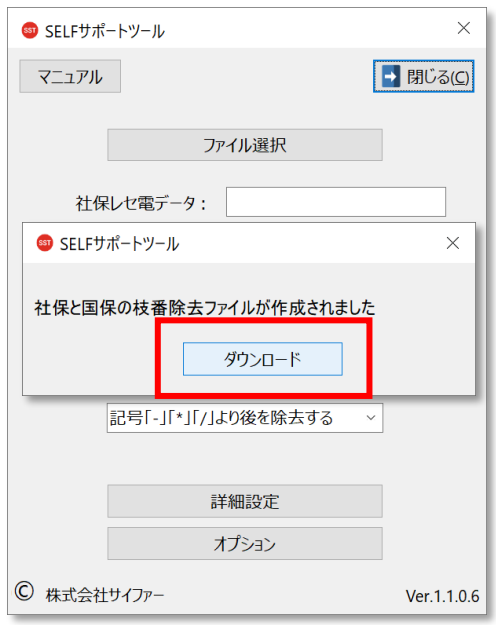
4．選択画面が表示されるので、社保のレセプトを選択し、［開く(O)］をクリックする。続けて同様に国保のレセプトを選択する。



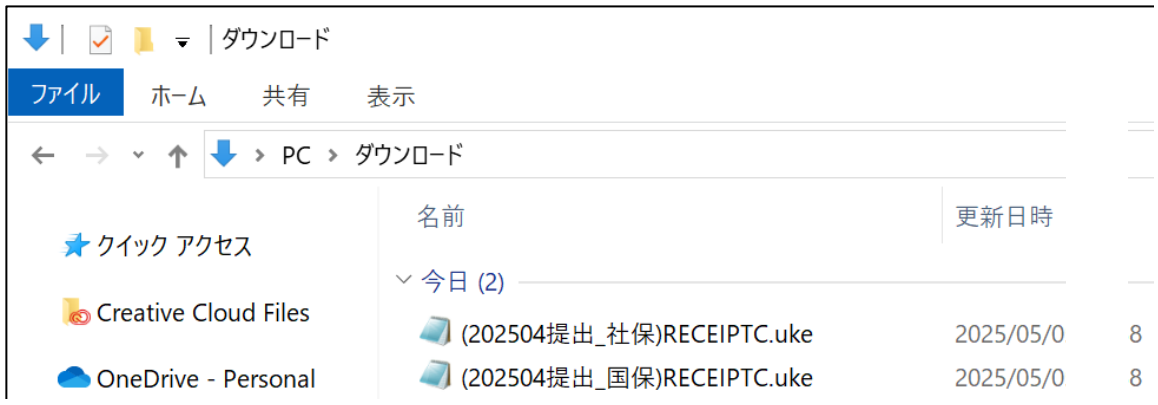
5．社保、国保の選択が完了したら、
「レセ電データ枝番除去」を
クリックする。



6．「枝番除去ファイルが作成されました」のメッセージを確認したら
［ダウンロード］をクリックする。



7．枝番除去ファイルがダウンロードされる。



枝番除去ファイルのファイル名はレセプトの提出月となる。
2025年3月のレセプトを枝番除去した場合、
(202504提出_社保)RECEIPTC.ukeは社保、
(202504提出_国保)RECEIPTC.ukeは国保の枝番除去ファイルである。

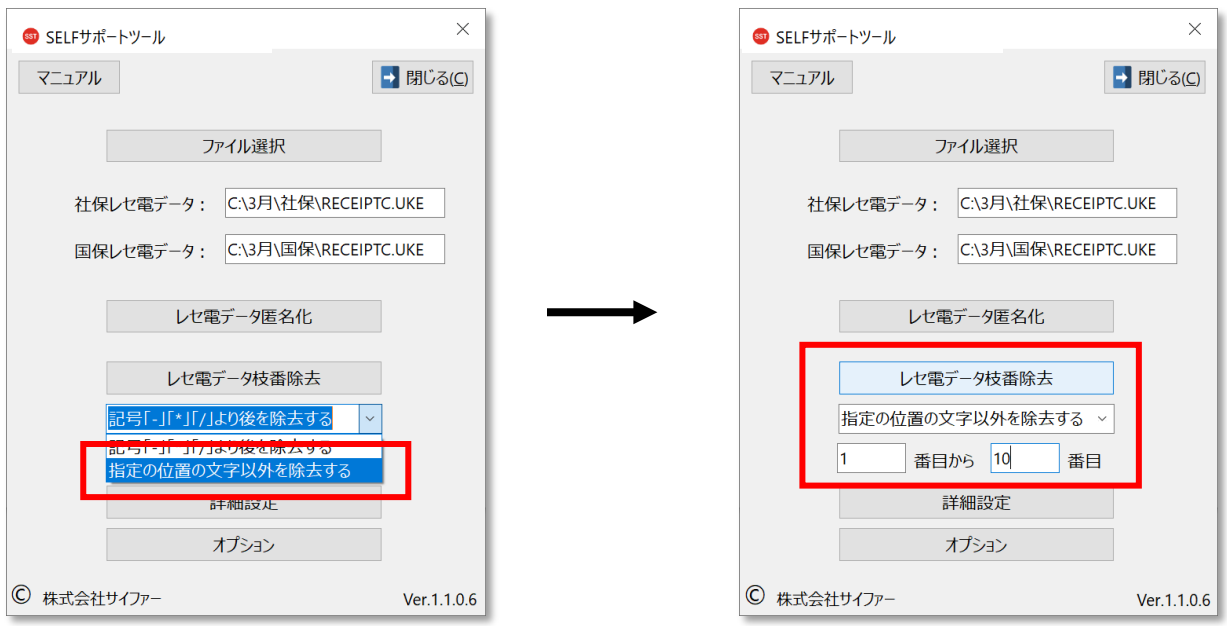
枝番除去ファイルは適時必要な場所に移動する。

レセ電データ枝番除去（カルテ番号が10桁以上の場合）

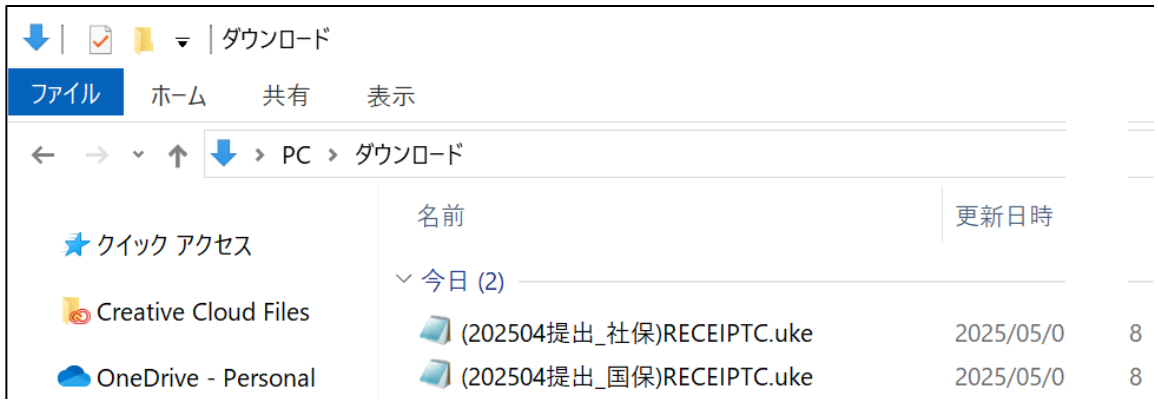
レセ電データのカルテ番号の位置に10桁以上の数字（00000012345015）が記録され、その一部（0000001234）がカルテ番号である場合。

1．「記号「-」「*」「/」より後を除去する」を、「指定の位置の文字以外を除去する」に変更する。

2．文字の位置を指定し、［レセ電データ枝番除去］をクリックする。



3．枝番除去ファイルがダウンロードされる。

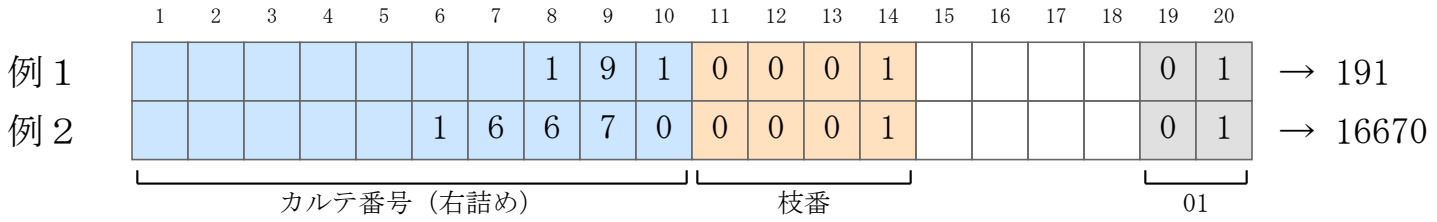


枝番除去ファイルのファイル名はレセプトの提出月となる。
2025年3月のレセプトを枝番除去した場合、
(202504提出_社保)RECEIPTC.ukeは社保、
(202504提出_国保)RECEIPTC.ukeは国保の枝番除去ファイルである。

枝番除去ファイルは適時必要な場所に移動する。

レセ電データ枝番除去（カルテ番号の前に空白がある場合）

レセ電データのカルテ番号の欄が、空白を含む固定長で記録され、先頭の1～10番目にカルテ番号が右詰めで入っている場合。

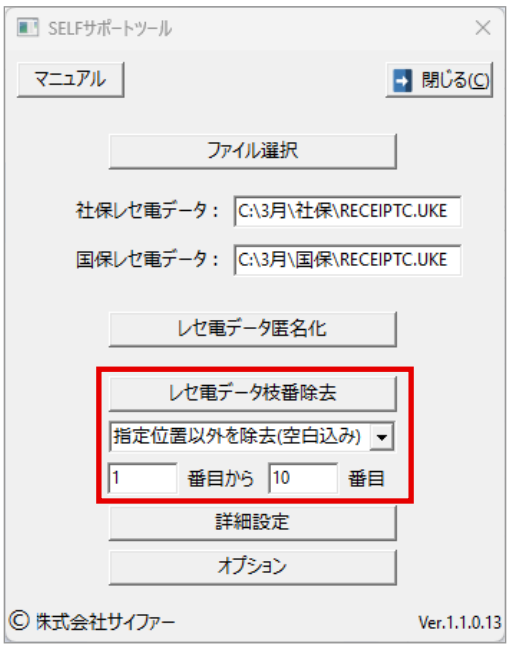


※空欄のマスは空白（スペース）

「指定の位置の文字以外を除去する」は先頭の空白を詰めてから位置を数えるため、カルテ番号の桁数が患者ごとに異なると正しく除去できない（例１で1～10番目を指定すると「1910001」となる）。この場合は「指定位置以外を除去(空白込み)」を選ぶ。空白も1文字として位置を数えるので、全患者のカルテ番号を正しく取り出せる。

1．「記号「-」「*」「/」より後を除去する」を、「指定位置以外を除去(空白込み)」に変更する。

文字の位置（例では1番目から10番目）を指定し、［レセ電データ枝番除去］をクリックする。



2．枝番除去ファイルがダウンロードされる。ファイル名と保存先は「カルテ番号が10桁以上の場合」と同じである。

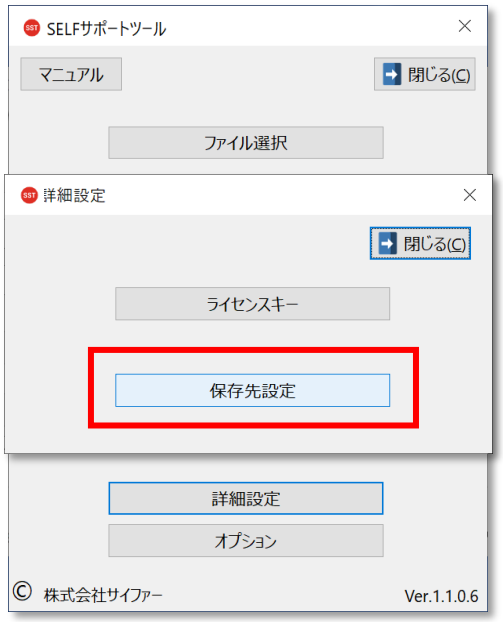
注：カルテ番号の位置はレセコン（電子カルテ）によって異なる。指定する位置が分からない場合は、SELFサポート窓口に相談のこと。

枝番処理ファイルを「ダウンロード」フォルダ以外に保存したい場合

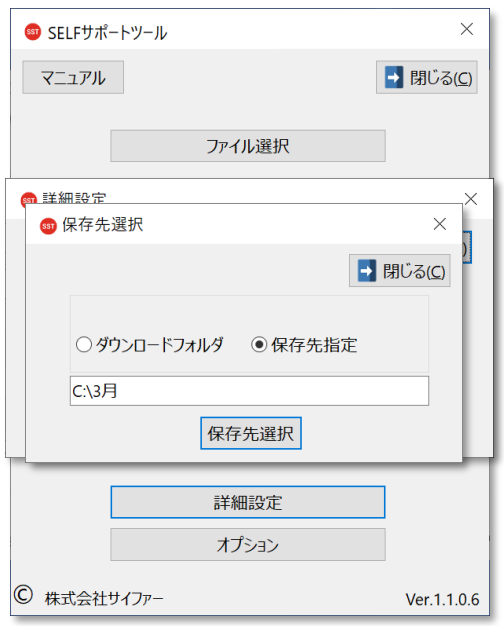
［詳細設定］をクリックし、



「詳細設定画面」が開く。
［保存先設定］をクリックする。



※［ライセンスキー］は
SELFコンバーター２で使用する。



○ダウンロードフォルダ を ◉保存先設定
に変更し、保存先を選択する。
次回より選択した保存先に枝番処理したファイルが保存される。